

令和2年度

第3回 豊田市上下水道事業審議会

(概要版)

令和2年8月4日

令和2年度 第3回豊田市上下水道事業審議会 会議録（概要版）

【日時】 令和2年8月4日（火） 午前10時00分～10時50分

【場所】 豊田市役所 南51会議室

- 【次第】
- 1 会長あいさつ
 - 2 議事
 - (1) 適正な下水道使用料のあり方について
 - I 次期経営計画（案）
 - II 下水道使用料の方向性について
 - (2) 今後に向けての意見交換
 - 3 その他連絡事項等
 - 4 事業管理者あいさつ

【出席者】 <委員>

竹内 信仁（名古屋大学名誉教授）	※会長
中山 恵子（中京大学経済学部教授）	※副会長
神頭 広好（愛知大学経営学部教授）	
松本 嘉孝（豊田工業高等専門学校准教授）	
近藤 恭弘（豊田商工会議所第一工業部会部会長）	
杉本 敦子（豊田商工会議所女性会会長）	
吉賀 憲夫（豊田市区長会理事）	
伴 健太郎（豊田市小中学校長会）	
鈴木 誠美（豊田森林組合代表理事組合長）	
石橋 博文（豊田加茂薬剤師会監事）	
野々山 輝美（あいち豊田農業協同組合女性部長）	
河合 久江（足助地域会議委員）	
鈴木 弘美（下山地域会議委員）	
古橋 久三（稲武地域会議副会長）	
城金 茂樹（公募委員）	
青木 厚子（公募委員）	

<事務局>

前田 雄治（豊田市事業管理者）	
杉本 尚久（上下水道局局長）	
成瀬 光明（上下水道局副局長）	
下川 涼太郎（上下水道局総務課長）	

澤田 亜紀（上下水道局経営管理課長）
岡田 政彦（上下水道局企画課長）
岡部 年朗（上下水道局料金課長）
堀江 荘平（上下水道局下水道施設課長）
竹村 浩一（上下水道局下水道建設課長）
畑田 吉彦（上下水道局経営管理課副課長）
八木 衣絵（上下水道局経営管理課担当長）
柳 富美夫（上下水道局経営管理課主任主査）
岡野 久（上下水道局経営管理課主査）

【欠席者】 藤嶋 伸一郎（豊田商工会議所：豊田信用金庫 副理事長）

【傍聴者】 なし

【議事等の摘要】

1 会長あいさつ

- ・本日は次第にありますように、引き続き適正な下水道使用料のあり方について御審議をいただきます。
- ・前回の審議会において、次期経営計画（案）の内容について説明いただきました。今回は次期経営計画（案）について、より詳細な部分を確認いただき、次の時期の下水道使用料をどうするか御審議いただきたいと思っております。
- ・本日、委員の皆さんと使用料についての方向性が確認できればと思っておりますのでよろしく申し上げます。

2 議事

(1) 適正な下水道使用料のあり方について

I 次期経営計画（案）

○経営管理課八木担当長

- ・資料に基づいて説明

<質疑応答>

特になし

II 下水道使用料の方向性について

○経営管理課八木担当長

- ・資料に基づいて説明

<質疑応答>

○中山委員

- ・皆さんからの質問については、先回までの会議で出尽くしたのではないかと思います。
- ・当初、審議のポイントとされていたのは、これから申し上げる3点に集約されると思う。
- ・まず1点目、算定期間中の純利益、内部留保資金の確保、2点目、一般会計からの繰入金の一定額の確保、最後3点目、安定的な経営の可能性、これに関しては、経費回収率などの経営指標から判断せざるを得ないと思う。
- ・今申し上げた3点に関し、事務局から説明があったが、その説明には、十分な根拠もあり、皆さんも納得していただけたと思う。
- ・またコロナ禍の状況で、万一値上げといった場合の市民生活への影響を考慮すると非現実的ではないと思う。
- ・以上の観点から、使用料設定に関しては、事務局の据え置き案というのが良いのではないかと私自身も思うし、皆さんも、納得していただいていると思う。したがって、据え置きの方向で採決を実施されてはいかがかと議長に提案する。

○野々山委員

- ・家計をやりくりする立場としても、次期下水道使用料をこのまま維持していただ

るのはとても助かる。

○松本委員

- ・昨年度末に下水道ビジョンが出された。短期的、中期的なことは、下水道ビジョンの中にも示されていた。下水道ビジョンが十分考慮されて、今回は算定されていると思うが、この下水道ビジョンに関する説明が、今回なかったので説明願えればと思う。

○八木担当長

- ・経営の指標である経費回収率については、下水道ビジョンの短期目標である68%がクリアできることを、経営計画で確認している。

○岡田課長

- ・昨年策定した豊田市下水道ビジョンでは15の基本施策が掲げられている。今回の4か年の経営計画ではこの目標に対して、着実に推進していく形になっている。

○古橋委員

- ・聞き洩らしかもしれないが、スライド20のところで、定期的オーバーホールの廃止と言われたと思うが、定期的オーバーホール廃止の根拠は明確にされているのか。

○八木担当長

- ・定期的なオーバーホールを中止すると説明した。完全に中止したのでなく、今までは定期的にオーバーホールをしていたが、ストックマネジメント計画という、更新計画をつくったので、ストックマネジメント計画に沿った更新をするために、ポンプなどを一度点検して、本当に交換が必要かを確認してから、交換をする形に変更した。

○堀江課長

- ・ストックマネジメント計画では、状態監視保全、時間計画保全、事後保全の3つに分け、保全を考えていくこととした。状態監視保全は、施設の劣化状況を確認し、その状態に応じて対策を行うパターンで、時間計画保全は、施設の特性に依り、あらかじめ定めた周期により対策を行うパターン、事後保全は、施設の異常の兆候の発生後に対策を行うパターンである。

○城金委員

- ・今回の据え置き提案については、感謝しているが、経済の停滞が続いた、この失われた20年間に市民の可処分所得はどうなっていたかという議論が抜けていたと思う。
- ・この市民生活の中における下水道事業のコストという視点から将来的には一度議論をしていただければと思う。

○澤田課長（経営管理課）

- ・答申の中の附帯意見を作成する際に、意見があったことを考慮させていただければと思う。

○城金委員

- ・前回の審議会で、設計施工一括発注の質問をし、審議会終了後、担当課長から説明を受けた。

- ・設計施工一括発注などの事業に関しては、当局で歩掛など発注段階に関するデータを把握しているため、一括発注しても、工事費が割高になったりすることはないと説明を受けたが、リスクとしては、歩掛などの情報が漏えいするかもしれないということはある程度把握し、承知しておく必要があるのではないか。
- ・歩掛などの発注金額に影響の及ぼす可能性のあるファクターに関しては、想定外ということはないようにしておいていただきたい。豊田市から情報が漏えいしたという報道が出てほしくないと思い申し上げた。
- ・もう一度申し上げるが、情報漏えいのリスクに想定外はないと思うので、そのあたりは仕組みを検討していただきたいと思う。

○竹村課長

- ・情報漏えいについては、しっかりと危機意識を持って管理していきたいと思う。

<採決>

○竹内会長

- ・事務局の提案について、採決を行う。
- ・「令和3年度から4年間の下水道使用料について、事務局案どおり据え置き」に賛成の方の挙手を求める。

« 全員賛成 »

○竹内会長

- ・全員一致ということで、下水道使用料は据え置きとする。

(2) 今後に向けての意見交換

特になし

3 その他連絡事項等

○経営管理課畑田副課長

- ・今年度の審議会開催予定について説明

4 事業管理者あいさつ

- ・本日は、下水道使用料の方向性について、決定いただきありがとうございます。
- ・豊田市では色々な重要事項につきまして、評価・公開・参加・共働を掲げて取り組んでいます。上下水道事業審議会も市民の皆様に参加いただき、御意見を頂戴しながら、一緒に街づくりをしていく取組の中での重要な審議会の一つでございます。
- ・それから新型コロナウイルスでございますが、先回の審議会が7月14日でした。その7月14日に40数日ぶりに第10例が豊田市で発表され、昨日までで、全部で97件でしたので、新規は約ひと月で88件となりました。
- ・豊田市としては、警戒レベル4にしておりまして、3密の防止、それからマスク、

手洗いの励行、換気などに気を付けながら、日常的な生活を送っていかうとしております。皆様方も十分気を付けていただきたいと思います。

- ・水道に関しましては、梅雨明けしましたが、矢作ダムは今80パーセントちょっとの貯水率で、今年の場合は渇水の心配はないと思っています。
- ・それから情報提供ですが、今週、市内のケーブルテレビで、水の防災に関する特集を放送します。災害の発生しやすい期間でございますが、豊田市の応急給水の方法や水の備蓄の大切さなどについて、特集していますので御覧いただきたいと思います。
- ・今日の御意見を踏まえて、答申作りを進めてまいりたいと思っています。よろしく願いいたします。今日はどうもありがとうございました。

午前10時50分終了